

2012（平成24）年度 東京大学 入試問題 第4問（文系） 解答例

- 一 筆者は、今の子供たちの希薄になった遊びへの熱意を、一心に紙を切る下の子に見出して胸を衝かれ、尊重したいと思ったから。
- 二 子供が、身近な貧弱な既知の事柄を超え、人間と自然に関わる未知の諸々の事物事象を、直接全身で鮮烈に感受するということ。
- 三 かくれんぼに熱中するひとりの子供の目に映じた、広大な菜の花畑の自然の中で、大どかに動く静かな時間を感じさせる情景。
- 四 筆者は、成人後も、一見役に立たず、無駄で何でもない対象に没頭し、歌作りにひとり熱中する生き方を続けてきたということ。